

1年・介護実習の目標と内容(高齢者施設)

目 標	内 容
施設の業務内容と役割を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、自己紹介を行う ・施設の概要等について、以下の説明を受ける <ul style="list-style-type: none"> ア、施設の沿革・組織、設置目的 イ、施設の構造、設備、機械器具、安全対策 ウ、職員構成、実習指導担当者 エ、利用者の状況（定員、利用の理由、利用期間、障害の状況、年齢、日課、行事、特色、生活内容など） オ、実習にあたっての心構え、身だしなみ、活動内容 カ、実習日誌・記録の扱い
利用者を理解し、円滑なコミュニケーションを図る	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の心身の状況に応じた円滑なコミュニケーションを図る <ul style="list-style-type: none"> ア、生きてきた時代背景、生活歴の理解 イ、安心感を与える、傾聴、受容、共感的理解 ウ、言語・非言語コミュニケーション

2年・介護実習の目標と内容(高齢者施設、障害者施設)

目 標	内 容
施設の業務内容と役割を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、自己紹介を行う ・施設の概要等について、以下の説明を受ける <ul style="list-style-type: none"> ア、施設の沿革・組織、設置目的 イ、施設の構造、設備、機械器具、安全対策 ウ、職員構成、実習指導担当者 エ、利用者の状況（定員、利用の理由、利用期間、障害の状況、年齢、日課、行事、特色、生活内容など） オ、実習にあたっての心構え、身だしなみ、活動内容 カ、実習日誌・記録の扱い
利用者を理解し、円滑なコミュニケーションを図る	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の心身の状況に応じた円滑なコミュニケーションを図る <ul style="list-style-type: none"> ア、生きてきた時代背景、生活歴の理解 イ、安心感を与える、傾聴、受容、共感的理解 ウ、言語・非言語コミュニケーション
介護の内容を理解し、介護技術を習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な場面での介護方法・介護技術を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ア、施設内外の清掃、整備 イ、ベッド周辺の整理・整頓 ウ、ベッドメイキング エ、身体の清潔の介助 オ、排泄介助 カ、入浴介助 キ、移動介助 ク、食事介助 ケ、運動 コ、体位変換 サ、衣服の着脱 シ、その他
利用者の趣味活動（レクリエーションなど）に参加し、活動の意義を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・行事等に積極的に参加するとともに、自らレクリエーションを計画して実践する
他（多）職種との連携の重要性を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内ミーティングや会議等に参加するとともに、介護に携わる専門職の役割とその連携を知る

3年・介護実習の目標と内容(高齢者施設)

目 標	内 容
施設の業務内容と役割を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、自己紹介を行う。 ・施設の目的・沿革などを知り、地域的な役割や利用者に対する役割を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ア、施設の沿革・組織、設置目的 イ、施設の構造、設備、機械器具、安全対策 ウ、職員構成、実習指導担当者 エ、利用者の状況（定員、利用の理由、利用期間、障害の状況、年齢、日課、行事、特色、生活内容など）
利用者の生活歴を理解し、円滑なコミュニケーションを図る	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の心身の状況に応じた、円滑なコミュニケーションを図る。 <ul style="list-style-type: none"> ア、生きてきた時代背景、生活歴の理解 イ、安心感を与える、傾聴、受容、共感的理解 ウ、言語・非言語コミュニケーション エ、五十音表など必要に応じて活用する
ICFの視点に基づくアセスメントを行い、介護過程を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントによって情報の整理・分析を行い、根拠に基づいた介護計画を立案し、実践する。 <ul style="list-style-type: none"> ア、利用者、職員、家族、記録等から、アセスメントシートを利用して情報収集を行う イ、ICFにおける生活機能および背景因子の相互作用によって、情報の整理・分析・統合化を行う ウ、ニーズの抽出、優先順位の検討を行う エ、目標の設定、具体的な援助内容（場所、時間、頻度など）の検討 オ、リスクマネジメントを考え、介護計画に沿って実践する カ、目標達成度、課題および問題点について評価する
利用者の趣味活動（レクリエーションなど）に参加し、活動の意義を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・行事等に積極的に参加するとともに、自らレクリエーションを計画して実践する
他（多）職種との連携の重要性を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内ミーティングや会議等に参加するとともに、介護に携わる専門職の役割とその連携を知る